



(こども版) としょかんだより No.281

2007年

9月号

# わくわく本だな

富山市立図書館

## 今月のおすすめ



= 1・2年  
= 3・4年  
= 5・6年

- あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします -

### 「ともだちみつけ」 那須 正幹 / 作 ポプラ社



はらだおさむくんは、ともだちみつけの名人ですが、となりのせきのおくやまあかねさんとはあまり話したことはありません。ある日、おさむくんはあかねさんの家をさがしているおじいさんとともだちになりました。

### 「夕焼けの国へようこそ」 垣内 磯子 / 作 フレーベル館

わたしがおふろに入っていると、<sup>とつぜん</sup>突然小人が現われて「おひめさま。おむかえにあがりました」と言い出しました。このわたしが夕焼けの国の王子と結婚するおひめさま？王子さまを見たいと思ったわたしは、小人と夕焼けの国へ出発しました。



### 「虫のこどもたち」(ちしきの本) 新開 孝 / 作 福音館書店



成虫にそっくりだけどはねがないバッタの幼虫や、痛そうなトゲだらけのテントウムシの幼虫、<sup>わたげ</sup>綿毛そっくりのベッコウハゴロモの幼虫...。成虫と同じ姿で卵から生まれるもの、ぜんぜん<sup>ちが</sup>違う姿で生まれるものなどいろいろあります。みんなりっぱな成虫になるために、さまざまな工夫をして力強く生きています。

# あたらしくはいった本

えほん

「 いっちゃん 」 二宮由紀子 / 文 解放出版社



一つ目こぞうのいっちゃんは、のっぺらぼうのののちゃんとなかよしです。ののちゃんは、とびばこや算数がとくいです。めだたない、へいぼんな一つ目こぞうのいっちゃんは、じぶんものっぺらぼうだったらいいのになあと思います。

ものがたり

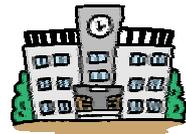
「 カバローの大きな口 」 戸田 和代 / 作 ポプラ社



カバローはある日、「カバローの口はでかいから、ひみつがしまっておけないぞ。」という悪口を聞いてしまいます。カバローは、よけいなことを言わないように、おしゃべりをしそうになったらお菓子<sup>かし</sup>を食べることを思いつきます。

## ともだち だ～れだ？

おはなしの主人公あてクイズ



花山第二小学校六年一組のぼくたち三人組は、いつもドタバタ事件にまき込まれてしまうけど、3人の力で見事解決！  
ぼくは、いたずら好きでちょっとはやとちりだけど、友だち思いなんだ。  
ぼくは、体が大きくてのんびりやで、気のいい食いしん坊。  
ぼくは、めがねをかけていて、読書と理科の実験が好き。  
さて、ぼくたちの名前わかるかな？



(こたえは、さいごのページにのってます)

## ものがたり

### 「<sup>そら</sup>宇宙くん、はしる」 正道 かほる / 作 草炎社



宇宙くんは、夏休みにとなり町にあるひまわり畑の絵をかくことにしました。自転車で出かけた宇宙くんは、途中で山上の<sup>とちゅう やまがみ</sup>ばっちゃんに会いました。ところが、ばっちゃんが急にたおれてしまいます。宇宙くんは自転車をがんがんこいで、助けを求めに走りました。

### 「スパイ少女ドーン・バックル」 アンナ・デイル / 作 早川書房



おとなしくて目立たない11才の女の子ドーンがスパイにスカウトされました。誰にも注目されないとこがスパイにぴったりだといのです。さっそく<sup>くんれん</sup>訓練を受け、消えたスパイ仲間を探し出す<sup>にんむ</sup>任務につくのですが、<sup>じやまもの</sup>思わぬ邪魔者がついてきます。

### 「ポータブル・ゴースト」 マーガレット・マーヒー / 作 岩波書店



ディッタは、学校の図書館にいる<sup>ゆうれい</sup>幽霊のヒリーと仲良くなります。そのころ、クラスメートのマックスは、新しい家の床がねじれうめき声がするとおびえていました。ディッタは<sup>たんてい</sup>探偵になったつもりで、ヒリーとパソコンおたくの妹ミラベルといっしょにマックスの家の<sup>なぞ</sup>謎を探りはじめます。

## ちしきの本

### 「ものづくり絵本シリーズ どうやってできるの? 4 あらいたてきもちいい! パンツ」 チャイルド本社



みんなが毎日はいているパンツは「もめん」という布から作られています。ハンカチやふとんももめんからできています。そのもめんは「わた」という植物から作ります。わたからパンツができるまでをわかりやすく紹介しています。



名作をよもう！

今月の1さつ

「ちいさいモモちゃん」 松谷 みよ子/作 講談社

1才になったモモちゃんは、「あかちゃんのうち」へ行くことになりました。黒ネコのプーは、ひとりでおるすばんです。あかちゃんのうちにいったモモちゃんは、プーがないので泣き出してしまいました。



モモちゃんが生まれてから、3才になって「あかちゃんのうち」を卒業するまでのおはなしです。妹のアカネちゃんのおはなしもあります。

## れきし じんぶつしょうかい



第4回 < 宮沢賢治 >

生年月日 1896年8月27日

出身地 岩手県花巻市

岩手県花巻市はなまきしで生まれた宮沢賢治みやざわけんじは、学校の先生をしながら、たくさんの詩や童話を作りました。30才のときに先生をやめて、青年たちに農業を教えるようになります。そして昭和8年9月21日、37歳でなくなりました。

賢治のつくった童話には「やまなし」や「銀河鉄道の夜」、「風の又三郎」などがあり、今でも多くの人に読まれています。



クイズのこたえ

ズッコケ三人組の“ハチベエ” “モーちゃん” “ハカセ”です。

「それゆけズッコケ三人組」から「ズッコケ三人組の卒業式」まで、このシリーズは50冊出しています。



< 編集・発行 >

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50

電話 076-432-7272

